

欧州カー・オブ・ザ・イヤー2021受賞!

YARIS



コンパクトだからこそこのこだわり

コンパクトだからこそ、軽い、軽さを活かした俊敏で軽快な走り。コンパクトだからこそ、軽い、軽いことで実現できる最高の燃費。コンパクトで安価ゆえに、妥協しがちなデザイン、安全性、コネクテッド装備において、いかに高いレベルを実現するか…この相反する大変困難な目標を実現するために、最新の先進安全技術の投入に特にこだわりました。

安全性能

ステアリング・アクセル・ブレーキ操作を制御。駐車したいスペースの横に停車後、駐車位置を確認。その後、カメラとソナーによって周囲を監視しながら、駐車操作をアシストして駐車を完了させます

低速時の歩行者、自転車への被害軽減を

自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。衝突回避または被害軽減をサポートします。

高速道路のクルージングをサポート。

車線の中央を走行するために必要なステアリング操作の一部を支援。

GR YARIS 発表

トヨタのスポーツカーを取り戻したい。

ずっとそう思い続けてきました。86はラリーでもサーキットでも私の大事な相棒です。スープラもその名にふさわしいクルマとして復活させることができました。ですが、やはりトヨタが自らの手で造るスポーツカーが欲しい。その思いがずっと、私の心にはありました。WRCへの参戦も、そこで得た技術や技能を織り込んだトヨタのスポーツカーを造りたいと思っていたからです。このGR-FOURは世界で勝つためにトヨタが一から造ってきたスポーツカーです。その一から今まではトヨタは一般のお客様が使うクルマを造り、そのクルマの中でレースに使えるように改造してまいりました。



WOVEN CITY REPORT

2021.04 vol.1

Woven Cityプロジェクト本格始動



「Woven City」は、ヒト中心の街づくりの実証プロジェクトです。トヨタが自動車会社からモビリティカンパニーへの変革を目指す中、プロジェクトでは自動運転、パーソナルモビリティ、ロボット、人工知能（AI）技術などをはじめとする様々な領域の新技术をリアルな場で実証していきます。そして、世界中の様々な企業や研究者の方々と一緒に取り組む機会としていく予定です。

「Woven City」では、地上に自動運転モビリティ専用、歩行者専用、歩行者とパーソナルモビリティが共存する3本の道を網の目のように織り込み、地下にはモノの移動用の道を1本つくります。高齢者、子育て世代の家族、発明家の方々を中心に、初めは360人程度、将来的にはトヨタの従業員を含む2,000人以上の住民が暮らし、社会課題の解決に向けた発明がタイムリーに生み出せる環境を目指してまいります。

未来への、着工

トヨタ自動車（株）（以下、トヨタ）と、トヨタグループでソフトウェアを中心とした様々なモビリティの開発を担うウーブン・プラネット・ホールディングス株式会社（以下、ウーブン・プラネット）は、2月23日（火）11時より、「Woven City」（ウーブン・シティ）の建設を進めていくトヨタ自動車東日本株式会社 東富士工場跡地に隣接する旧車両ヤードにて、関係者出席のうえ地鎮祭を実施しました。



今、明かされるWoven Cityの原点



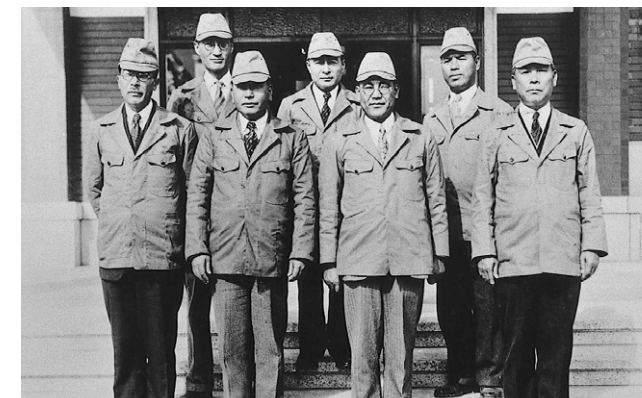
誰かのため・未来のために動きたい

これまでの私の人生を振り返りますと「あなたにはできない」「お手並み拝見」「失敗すればいいのに」「誰も応援しないからどうぞ」。そう言われ続け、常に「孤独」の中で生きてきた、そんな気がしております。だからこそ、「誰かのため」「未来のため」に動きたいという想いが、自分の中で強くなったと思っております。私は、リーマン・ショック後の赤字転落の中で、社長に就任しました。

“喜一郎の挑戦”はまだ道なかば

喜一郎が生きていたら、こう言うのではないかと思います。「確かに、自動車産業は日本に根付いた。日本の高度成長を支える原動力にもなった。今では、世界中の道を日本のクルマが走っている。しかし、高齢者や障がいを持つ方を含め、移動の自由は実現できたのか。交通事故はなくなったのか。環境へのインパクトはどうか。本当にみんなを幸せにしているのか。日本に自動車産業を興すという挑戦は、まだ道なかば、だぞ。」その根底にあるのは「人間への信頼」「母国への愛」そして「未来への責任」です。そのためには、対立ではなく、

人の「心」と「和」を大切にする日本の、トヨタの力が役に立つ。この富士山のふもとの Woven Cityがその大きな役割を担っております。



創業者 豊田喜一郎（中央右）と仲間たち

まだ見ぬ18番目の世界

今年には日本にとって、「誰ひとり取り残さない」という姿勢で、国際社会が目指しているSDGsの取り組みを加速させる年でもあると思います。

SDGsの17の目標を3マス×6マスで見ると、最後の1つが空いております。それは、「目標の実現に、本気で取り組んだものだけが、18番目の世界を見ることができる」という意味ではないでしょうか。



静岡県裾野市にあるトヨタ自動車東日本の東富士工場が10日、生産を終了して半世紀にわたる歴史を終えました。この敷地では、トヨタが自動運転や人工知能の実証実験を行う「ウーブンシティ」が来年2月に着工する予定です。

現在の住所は 〒410-1195 静岡県裾野市御宿1200

WOVEN CITY Progress

2021.2.23

東富士工場跡地にて、地鎮祭

2021年2月23日、トヨタ自動車東日本 東富士工場跡地に隣接する旧車両ヤードにて、静岡県、裾野市、地域の皆様や関係者一同とともに地鎮祭を実施しました。



施設や設備の設計も進行中

基幹施設の設計と並行して設備設計の専門知識を持つスタッフが設計・施工準備も進行中です。トヨタの持つ設計技術が有効に生かされ先進的な住環境が準備されていきます。



運用に必要なアプリの開発

WOVEN CITYでの各種ジャンルのアプリ開発を行なっています。柔軟な発想と、確かな技術で課題解決を目指しています。単なるアプリ開発に留まらず、課題の本質を見抜き、解決へと導いていきます。

2021.4.20

解体工事の測量始まる

東富士工場を解体するにあたり、正確な建物配置などを確認するために準備測量が始まりました。工場全体像を知るためにドローンによる空撮測量が導入されています。さらに緻密な測量のために各種機械が導入されます。解体工事は2011年10月までに終了する予定です。



トヨタタイムズ

10年前の震災後に大きな決断

震災4カ月後の2011年7月、東北を中部、九州に次ぐ第3の国内生産拠点にするために、関東自動車、セントラル自動車、トヨタ自動車東北の3社を統合したトヨタ自動車東日本（以下、TMEJ）を設立することを発表。2年後の2013年には、企業内訓練校「トヨタ東日本学園」を開校し、モノづくりの中核を担う人材が東北の地でも育つような後押しをしてきた。



ヤリスが欧州のカーオブザイヤーに

欧州9カ国、9自動車誌が主催し、過去1年に発売された乗用車から選ばれる。58回目となる今回は29車種から7車種が最終選考に残り、3月1日に開催された最終選考結果発表にてヤリスが“今年のクルマ”として選出された。

新型発売の遅延は、販売店など他社の経営状況にも影響を及ぼしかねないが、“お客様に笑顔になっていただけるクルマづくり”をしよう、発売の延期が決断されていた。



トヨタ車と救命士のストーリー

米国テキサス州の高速道路上で、路面凍結による大規模な玉突き事故が発生した130台以上を巻き込んだ事故の被害者の1人、トヨタFJ クルーザーで通勤途中だった救急救命士のトレイ・マクダニエルさんがいた。

愛車のFJ クルーザーは大破したものの、彼自身は一命をとりとめた。最初にとった行動は、他の被害者を助けに行くことだった。しばらくした後、救急隊がマクダニエルさんを見て、「ちょっと待って。もしかして君も事故に巻き込まれていたのか？」と、ようやく気が付いたくらいだ。

香川編集長



トヨタが宇宙開発、有人月面着陸車（ルナクルーザー）開発に乗り出すきっかけとなったのは、情熱あふれる2人のメンバーだった。トヨタの社員とJAXAの職員。お互いまったく接点がないころから、それぞれ個別に「トヨタは宇宙をやるべきだ」という信念を抱いていた2人。その想いはやがて出会い、世界を変えるかもしれない一大プロジェクトへとつながった。



誰もが楽しみ、心が動くモビリティを届けるために



ダイバーシティ&インクルージョン

さまざまな色の糸できれいな布を織り出せるように、多様な考え方を尊重することを大切にしています。

世界をリードするシリコンバレーのイノベーションと、丁寧で精緻な日本のもの作り。これらの融合により、テクノロジーを洗練させ、トップクラスの安全性を実現したモビリティを創造します。私たちの果たすべき使命、ありたい姿、価値観を心に刻み、事業に臨みます。

A Place to Grow

At Woven Planet Group, we are building a unique work environment and culture, blending the best of innovative Silicon Valley start-ups with the quality-driven values of trusted Japanese companies. Located in Japan, in the Tokyo neighborhood of Nihonbashi ("Japan Bridge"), Woven Planet Group takes its position as a bridge between ideas and cultures seriously.

Our success starts with the individual skills and talents of our people. We value new ideas and creative, collaborative thinking. We offer competitive salaries, benefits, bonuses, and promotion paths and strive for a healthy work-life balance, with casual wear and flex hours. At Woven Planet Group, our work is done in English. We offer Japanese or English language learning opportunities for all of our team-members.



裾野Information



裾野市は静岡県の東、富士山のふもとに広がり、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山と豊かな自然に囲まれた工業のまちです。

人口は51,347人(令和2年4月1日現在)、面積は138.12平方キロメートル。気候は温暖で、交通の便も良く、豊かな自然と産業が調和したまちです。また、裾野市は『健康文化都市』を宣言し、誰もが健康で、人と自然のふれあいを大切にして、豊かな裾野の文化を作り続けることを目指しています。そして、裾野市の一番の自慢は雄大な富士山の眺望です。

優雅で、気品に満ちた四季折々の富士山を、ご覧ください。



裾野市
ホームページ



裾野市の花：アジアカツツジ



裾野市の鳥：ウグイス



秋の収穫と富士山



裾野市の歴史

- 1952年：裾野町が発足。
- 1956年：深良村が裾野町に編入。
- 1957年：富岡村・須山村が裾野町に編入。
- 1971年：市制施行、裾野市となる。
：富士裾野工業団地竣工。
- 1988年：東名高速道路裾野インターチェンジ
開通。
：国道246号線裾野バイパス全線開通。
- 1992年：人口5万人達成。

裾野市の観光

富士山と愛鷹山の間十里木地区に別荘地が広がる。裾野市域からの富士山眺望は宝永火口が中心にありシンメトリーな富士山が見える。また箱根山の芦ノ湖スカイラインは裾野市域であり、三国峠からは左に駿河湾、右に富士山がある大パノラマが有名。



三国峠から望む富士山